

仙台市環境影響評価審査会 議事録（要旨）

■日時	平成30年2月13日(火) 13時30分～14時30分
■場所	市役所本庁舎 2階 第二委員会室
■出席委員	風間会長, 丸尾副会長, 伊藤委員, 岩谷委員, 西條委員, 深見委員, 山崎委員, 山田委員, 山口委員
■欠席委員	遠藤委員, 菊池委員, 小林委員, 牧委員, 松木委員, 松八重委員
■事務局	菅原環境企画課長, 相田環境対策課長, 樋口環境共生課長
■審議	・(仮称) 仙台市岩切山崎今市東土地地区画整理事業に係る環境影響評価方法書について(諮問第59号)
■報告	・仙台市荒井東土地地区画整理事業に係る事後調査報告書(供用後)(案)について
■事業者	・事業者1 (仮称) 仙台市岩切山崎今市東土地地区画整理事業 事業者 ・事業者2 仙台市荒井東土地地区画整理事業 事業者

事務局	【次第1 開会】 ・審査会成立報告
事務局	【次第2 資料確認】 ・資料確認
風間会長	【次第3 審議】 〈〈公開・非公開の確認〉〉 原則公開。ただし、個人のプライバシー及び希少な動植物の生息・生育場所等に関する事項があれば非公開とする。 → (各委員了承) 議事録署名 山崎委員を指名 → (山崎委員了承)
(審議1) 風間会長	それでは審議に入る。 審議事項1の(仮称)仙台市岩切山崎今市東土地地区画整理事業に係る環境影響評価方法書について、今回が初めての審議となるので事務局から説明をお願いします。
事務局	本方法書については、1月23日から1ヶ月縦覧を行っており、意見書の提出期間は3月8日までとなっている。意見書の有無及び内容については、次回の審査会で報告する。 これまでと同様に本日を含め3回の審議で答申をいただくことを予定している。 方法書の内容については、事業者より説明をお願いします。

事業者1
風間会長
山崎委員

(別冊資料1について説明)

ただいまの説明に対して委員の皆様からご質問、ご意見をお願いします。

これから大気質や騒音・振動等の現地調査が行われると思うが、隣接する仙台貨物ターミナル駅の工事期間と重なり、調査結果にターミナル駅の影響が入ると思われる。また、本事業が工事に入る頃には、ターミナル駅は稼働している。現地調査を含め、ターミナル駅の進捗状況を意識して進めていただく必要があると思う。

事業者1

ターミナル駅については、これから工事等が行われると思うが、進捗が少し遅れていると聞いている。ターミナル駅の工事の進捗状況を踏まえながら、できる範囲で、現地調査の時期等を考えていきたい。

山崎委員

バックグラウンドの調査としては、ターミナル駅の工事をしていない時期に実施した方がいいと思うが、どのタイミングで調査すると、調査結果にどういう影響が入るのかということを中心に意識していただきたい。

次に環境影響評価項目の選定について、大気質の粉じんを配慮項目としているが、一般項目とした方がよいのではないか。荒井南や荒井西などの土地区画整理事業でも、粉じんは一般項目としている。もし粉じんを配慮項目とするのであれば、先行事例と比べてどういう点が異なるのかなど理由をしっかりと示していただきたい。

事業者1

工事の細かな計画ができていないので、これから検討したい。

山田委員

工事中の濁水対策等は先ほどご説明された内容で十分だと思う。一方、供用後の土地利用の半分ぐらいを流通業務施設が占めているが、そのような事業では廃油漏れ等による水質事故が多く、調整池だけでは対策が不十分である。そのため、環境影響評価項目として、「供用による影響」の「施設の稼働」の中で、水の汚れ、あるいは地下水汚染を配慮項目として選定したほうが良いと思うが、いかがか。

事業者1

土地利用計画では流通業務施設としているが、実際にどういった事業者が来るのかは、現時点では全くわからない。ご指摘のとおり、配慮項目とすることは検討したいと思う。事業者に対して、こういう配慮をしてくださいとお願いすることはできるかと思う。

山田委員

事業者の選定等はこれからだと思うが、配慮項目とすることは、汚染物質の流出についての注意喚起にもなるかと思う。ぜひ前向きにご検討いただきたい。

山口委員

方法書1-11ページと1-12ページの地形・地質に関わることで確認したい。計画地は軟弱な地盤が想定されるためプレロードを行う計画であり、盛土によるプレロードにより締め固めることで、液状化への抵抗を高めるとある。これは、盛土については液状化に対してきちんと考えているというこ

	とだと思ふ。またそれとは別に、自然地盤に対しても液状化の判定をするとあるが、それについても状況に応じて対策をきちんと考えるということによるしいか。
事業者1 山口委員	液状化については、現況及び供用後について判定を行う。 詳しい判定はボーリングデータ等が出てからになると思う。現段階では状況に応じて対策を考えるということでも十分だと思うが、状況によってはしっかり対策しなければいけないということも考えていただきたい。
伊藤委員	供用後の交通量がかなり増え、想定が1日当たり2,300台とのことだが、現在はどのくらいなのか教えていただきたい。 もう一つ、周辺に岩切小学校があるが、中学校も隣接しているのではないか。小学校だけが方法書に記載されているが、学校の周辺ということで考慮していただくべきかと思う。確認をお願いしたい。
事業者1	小学校については本事業の予定区域の中に入っている。一方、中学校は区域から北側の少し離れたところにある。区域内には小学校だけである。
伊藤委員	現状の交通量はわかるか。
事業者1	現状の交通量は、平成25年の既存資料で把握しているが、現地での調査についてはこれからである。
伊藤委員	交通量は、ターミナル駅ができたことも見込んで考えるのか。
事業者1	交通計画については、ターミナル駅を含め、周辺の開発を踏まえ、交差点改良等を考えていかなければいけないと思っている。
岩谷委員	方法書5-8ページの騒音・振動の予測地点について、No.6の地点は事業予定区域から遠いが、ここに設定した理由があれば教えてほしい。
事業者1	No.6の地点は国道4号上であり、近くにマンション等の住宅があるため設定した。
岩谷委員	工事用車両等の動線について、新田地区の球場のあたりで国道4号を降りて、田んぼの中を通ってくる場合もあると考えてよろしいか。
事業者1	具体的な工事計画はこれからだが、工事用車両等の動線は、基本的には幹線道路であると想定している。
岩谷委員	東北学院高校の北側を通る幹線についても渋滞を考慮しなければいけないと思うが、いかがか。
事業者1	渋滞というより、騒音・振動の予測対象として主要な道路を選定している。
岩谷委員	国道4号上よりも、国道を降りてからの騒音や渋滞も重要だと思うのだが、そこは考慮されないのか。
事業者1	野球場から東側にかけての道路上でということか。
岩谷委員	そのとおりだ。
事業者1	保全対象があるかどうかによるが、少し検討させていただく。

風間会長	<p>方法書5-17ページの水象について、(4)の調査期間等に四季ごとに晴天時に1回ずつ流量を測るとあるが、ここで大事なのは洪水や雨が降ったときにどうなるかということである。土地利用の改変によって流出係数が変わる。つまり水がたくさん出ることによって下流に被害が出ないかということを押さえるべきである。雨天時に流速計で測るのは難しいと思うが、目視等により水位を確認するなど、雨が降っているときの水の量を確認してもらいたい。</p>
事業者1	<p>水質の調査は降雨時も予定しているので、その中で一緒に確認することも考えたい。</p> <p>なお、調整池を設置する計画であるので、ある程度の水量しか出ないと思っている。</p>
風間会長	<p>モデル等で最終的に計算されると思うが、調整池の容量なども含め、どれだけ水が出てきているかというのを確認してもらいたい。</p>
事業者1 山崎委員	<p>検証という意味では、検討したいと思う。</p> <p>事業予定区域の真ん中を通っている薄ヶ沢用水路は、現況保全を図る計画となっており、方法書1-10ページの図において下流側にそのまま流れるようになっている。この先には、ターミナル駅が立地されると思うが、どのように流す計画なのか。</p>
事業者1	<p>ターミナル駅の事業者からは、南側の水田への配水機能として、この薄ヶ沢用水路は残す計画だと聞いており、本事業においてもそれを基本として設計を行っている。</p>
風間会長 事業者1 西條委員	<p>薄ヶ沢用水路には、本事業地からの雨水排水は入らないと考えてよいか。本事業地からの雨水排水は別の経路を計画している。</p> <p>方法書1-8ページの土地利用計画図を見ると、利府街道の沿線には商業施設あるいは流通業務施設が張りつくことになる。住宅地はその後ろ側になる計画のようだが、方法書の中でも示しているとおおり、利府街道は現在でも渋滞がひどい状況だ。本事業による発生集中交通量が1日当たり2,300台と想定しているが、想定どおりになるかどうかは実際にはわからない。供用後に施設が全部張りついたとき、それだけで済むかどうか少し心配である。利府街道の幅員を広げるような話はないのか。</p>
事業者1	<p>利府街道の幅員の拡幅については、現段階では考えていない。渋滞になる一つの要因は、北側にある橋で車線が絞り込まれてしまうためであり、事業予定区域の付近だけを拡幅する効果は低いと考えている。</p>
丸尾副会長 事業者1	<p>交差点改良は、大気質等の予測にどのように反映されるのか。</p> <p>大気質・騒音・振動については、事業区域の外に予測地点を設定している。交差点改良により付近の渋滞を解消すれば、それらの地点もスムーズに流れ</p>

	<p>るのかもしれないが、基本的に交通量に起因する影響予測しか予定しておらず、交差点改良による予測は考えていない。</p>
丸尾副会長	<p>大気質等は、車両の速度による影響も大きい。交差点の改良を考えているのであれば、それがどのような効果があるのかを評価しなければいけないのではないか。</p>
事業者1	<p>交差点改良によって、車両の速度がどのくらいになるかという予測はかなり難しい。現状と事後で、速度等を測るような形で把握できればと思う。</p>
丸尾副会長	<p>交差点の改良は、どのように評価するのか。</p>
事業者1	<p>交通計画の中での検討であり、それを踏まえた予測まではなかなか難しい。ただし、供用後の事後調査の中でどのくらい改善されているかは把握できると思う。</p>
丸尾副会長	<p>交差点改良により、交通量等がどれだけ改善されるのか、事前の評価を示していただきたい。</p>
事業者1	<p>ご指摘の内容は、交通計画やその資料編の中で示させていただきたい。</p>
丸尾副会長	<p>ぜひお願いしたい。</p>
風間会長	<p>それでは以上とする。</p> <p>追加のご意見等あれば後ほど事務局に提出をお願いします。</p> <p>今回は本日の意見等について事業者の対応方針をお示しいただき、さらに審議を重ねたいと思う。</p>
(報告1)	<p>【次第4 報告】</p>
風間会長	<p>次に、報告に入る。仙台市荒井東土地区画整理事業に係る事後調査報告書(供用後)(案)について、事業者より報告をお願いします。</p>
事業者2	<p>(資料2について説明)</p>
風間会長	<p>ただいまの説明に対して委員の皆様にご質問、ご意見などをお願いします。</p>
山崎委員	<p>資料の37ページ、二酸化窒素濃度の測定結果について確認したい。現地調査した2地点ともに、環境基準の下限である0.04ppmを上回る日が2日もしくは1日ある。そのこと自体は問題ないが、2地点の冬期の測定結果が、七郷測定局に比べて高いが、その原因がわかれば教えてもらいたい。</p>
事業者2	<p>現地調査地点は道路の沿道であるが、七郷測定局は道路から少し離れているため、その違いがあるのではないかと考えている。</p>
山崎委員	<p>了解した。0.04ppmを著しく超過している場合には、よく調べなければいけないが、そこまでではないので問題はないと思う。</p>
岩谷委員	<p>騒音・振動について、予測結果と比較してどうだったのか。</p>
事業者2	<p>予測結果と比べても極端に大きい結果ではなかった。</p>
岩谷委員	<p>定量的にはどれくらいか。どこかに記載されているのか。</p>
事業者2	<p>資料の141ページに記載がある。</p>

岩谷委員	了解した。
風間会長	ほかにあるか。 それでは、この件については以上とする。 本日の意見等を踏まえ、事後調査報告書の作成をお願いします。
風間会長	【次第5 その他】 それでは、次第5のその他に移るが、何かあるか。
事務局	事務局から2点。 ・本日の審査案件に対する追加意見は、2月20日（火）まで。 ・次回の審査会は未定。
事務局	【次第6 閉会】 《審査会終了》

平成30年 3月 22日

仙台市環境影響評価審査会会長

氏名

風間 聡



仙台市環境影響評価審査会委員

氏名

山崎 剛

